



桃三小

令和3年度5月号 No.591

令和3年 4月28日

杉並区立桃井第三小学校

校長 末 永 弘

「勇氣」「やる気」「根気」が溢れる学校に

副校長 大滝 淳子

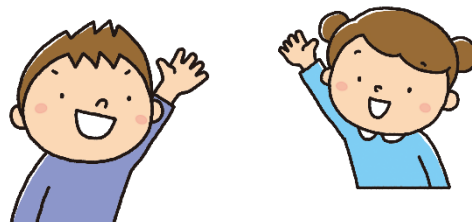
初めて桃井第三小学校に来た時、校庭にある3本の木に目が留まりました。閑静な住宅街の中、ここだけ森の中に来たのではないかと思う程の大きな木でした。よく見ると、それぞれ「勇氣の木」「やる気の木」「根気の木」という名前が付けられていました。とてもすてきな名前だと感じるとともに、私自身がこの木に3つのエネルギーをもらい、新たなスタートを切ることができました。

4月6日、桃井第三小学校の新年度が始まりました。新しいクラス編成となり、ドキドキしている子どもたち。その中で、新しいクラスメートに話しかける「勇氣」の場面をたくさん見かけました。また、委員会が始まり、学校のために意欲的に活動している5・6生の表情には「やる気」がみなぎっていました。先日、授業中に職員室をのぞく2年生がいました。聞くと、「1年生に案内する準備をしている」とのこと。誰かのために力を尽くそうとする姿が見られました。これから自分たちのめあてをもち、こつこつと「根気」強く頑張っていく子どもたちの姿がたくさん見られるのだろうと期待できる新年度の幕開けとなりました。子どもたちはいつもこの3本の木に見守られ、学びや関わり合いの中で「勇氣」「やる気」

「根気」を身に付け、すくすくと学校生活を送っているのだと感じました。

もちろん、見守っているのは、3本の木だけではありません。保護者の方々、地域の方々子どもたちを、学校を見守り、育ててくださっています。副校長として着任してから約1か月の間に、PTAの運営委員会、学校支援本部、地域の方々など、学校に関わる方々とたくさん話し、思いを伺う機会をいただきました。そのことを通して、桃井第三小学校は、様々な人たちの「やる気」「勇氣」「根気」の上に成り立っている学校であることを強く実感し、感謝の思いでいっぱいになりました。

私たち教職員も、その一員です。私たちは、学校に関わる人々の思いや期待を受け止め、子どもたち一人一人が主役として輝く場になるよう、保護者の方、地域の方と協力して教育活動を進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



今月の生活目標（5月）◆外で元気に遊ぼう◆

新学期がスタートして一か月がたちました。1年生も学校に慣れ、給食、休み時間、学習などいろいろな活動を元気に行っています。これからもっともっと楽しく過ごしていけるよう、5月は、外遊びを積極的行っていきます。桃三小の休み時間は、児童が安全に思い切り体を動かして遊べるよう、体育館や屋上も使用しています。新緑のさわやかな空気の中、感染症対策をしっかり行いながら、学級・学年を越えて声をかけ合い笑い合う、そんな休み時間を目指していきます。

生活指導主任 中村 恵

